

2019年2月25日

SOMPOホールディングス株式会社
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
SOMPOヘルスサポート株式会社

米国スタートアップ ニューロトラック との業務提携に向けた基本合意書の締結 ～認知機能低下を予防するデジタルコーチングサービスの共同開発～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）、グループ傘下の損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（取締役社長：大場 康弘、以下「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」）およびSOMPOヘルスサポート株式会社（取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）の3社は、米国シリコンバレーのデジタルヘルスケア分野のスタートアップ企業である Neurotrack Technologies, Inc.（Co-Founder and CEO：Elli Kaplan、以下「ニューロトラック社」）と業務提携に向けて2019年1月に基本合意し、認知機能低下を予防するデジタルコーチングサービス「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の共同開発に向けた実証実験を同月に開始しました。

1. 目的・背景

日本国内におけるMCI（軽度認知障害）と認知症高齢者の総数は、2012年時点で約862万人と推計されています。2025年には約1,300万人に達するとの予測もあり、要介護者の増加による介護職員の不足など、認知症に関するさまざまな社会的課題が増加していくことが想定されています。

SOMPOホールディングスは、認知症に関する社会的課題の解決に貢献するため「SOMPO認知症サポートプログラム」を展開し、その第一弾として、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は2018年10月に業界初となるMCIを保障する健康応援型商品「リンククロス 笑顔をまもる認知症保険」を販売開始しました。

ニューロトラック社は、AIを使い、目の動きから認知機能低下の予兆を把握するサービスをグローバルに展開しています。また、認知機能に悪影響を与える生活習慣の改善に焦点を当てて、複合的なコーチングを提供することで、認知機能の低下予防を目指す「メモリーヘルスプログラム（MHP）」を開発しています。

SOMPOホールディングスは、特定保健指導事業を展開するSOMPOヘルスサポートが有する日本人の生活習慣をふまえたコーチングの知見をはじめ、各事業を通じて得た健康増進に関するノウハウを有しています。これらをニューロトラック社の先進的な技術と融合することで、日本の健康長寿社会の実現に貢献できると考え、ニューロトラック社に「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の共同開発を提案し、このたびの業務提携に向けた基本合意に至りました。

2. 「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の概要

「メモリーヘルスプログラム（MHP）」は、アプリケーション上のコンテンツやコーチングにより、認知機能の低下予防や脳機能の活性化を目指すサービスです。また、世界的にも有名な、認知症予防にめざましい効果を示した、高齢者の生活習慣への介入研究「FINGER 研究^{※1}」にもとづき、食生活・運動習慣・学習など複合的なアプローチを行うプログラムとなっています。「FINGER 研究」を率いたスウェーデン王立カロリンスカ研究所のミア・キビペルト教授は、ニューロトラック社のサイエンスアドバイザーのメンバーです。

同サービスの日本版とは、「FINGER 研究」に基づく複合的なアプローチを維持しつつ、日本の食文化、生活習慣や健康リテラシーに合わせたプログラム（コンテンツ・コーチング）とすることを予定しています。なお、このプログラムには、AIを活用し、目の動きから認知機能低下の予兆を把握する「Imprint Memory Assessment^{※2}」テストが組み込まれています。

※1. 2009年から2011年にかけて、フィンランドで行われた「高齢者の生活習慣への介入による認知機能障害予防の研究」です。1,260名を対象に、食事指導・運動指導・認知トレーニング・生活スタイル指導の4つの介入を同時に行い、複数の介入を組み合わせることが、軽度の認知機能障害の進行の抑制に有効であることを、世界で初めて証明しました。

※2. エモリー大学のスチュアート・ゾラ博士のアイトラッキング技術を使用したサービスです。

3. 「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の共同開発における各社の役割

【SOMPOホールディングス】

実証実験を通じて「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の実用性や生活習慣の改善状況の検証などを行います。

【損保ジャパン日本興亜ひまわり生命】

認知症保険などにご加入されているお客さまや健康サービスブランド「リンククロス」の登録会員に「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の提供を検討します。

【SOMPOヘルスサポート】

日本の特定保健指導事業で業界 No. 1 の実績を有する SOMPOヘルスサポートが、日本人の生活習慣をふまえたコーチングノウハウをニューロトラック社に提供するとともに、日本におけるサービス運営業務、コーチング業務を担っていく予定です。また、健康保険組合や企業への提供も検討します。

4. 「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の実証実験

実証実験の概要は以下のとおりです。得られた結果や利用者の声を活かすことで、ユーザー目線の実用的な「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の開発を目指すとともに、蓄積された実証実験データを SOMPOホールディングスグループ各社およびニューロトラック社における認知症関連商品の開発に活用します。

項目	内容
<1> 期間	2019年1月～5月（約4ヶ月間）
<2> 対象者	SOMPOホールディングスグループ各社の社員・家族など
<3> 対象人数	約700名
<4> 検証内容	「日本版メモリーヘルスプログラム（MHP）」の実用性や生活習慣改善状況の検証など。

5. 今後の展開

SOMPOホールディングスグループは、日本国内のみならず海外の最先端の技術を積極的に活用することで、今後も「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供していきます。

以上

【参考】

■ニューロトラックの概要

名称	Neurotrack Technologies, Inc.
本社所在地	399 Bradford Street Suite 100 Redwood City, California 94063
設立年	2012年
代表者	Co-Founder and CEO Elli Kaplan

■損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の概要

「健康応援企業」への変革を目指し、健康サービスブランド「リンククロス」を立ち上げ、保険本来の機能（Insurance）と健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ、新たな価値「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を提供しています。その取組みの一環で、2018年10月に「リンククロス 笑顔をももる認知症保険」の販売を開始しました。

■SOMPOヘルスサポートの概要

特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策などの「こころと身体」両面でのヘルスケアサービスを通じて、お客さまの「安心・安全・健康」への取組みを支援しています。生活習慣病を予防する特定保健指導事業では日本全国1,550名の専門職ネットワークを有し、1年間に健康保険組合など550団体15万人に指導する「保健指導の実績 No.1 企業」として、約40%にのぼる高いマーケットシェアを誇っています。

認知症リスクは生活習慣病により高まることが分かっており、これまで培ってきた人財・ノウハウをもとに認知症予防のための生活習慣改善支援事業への取組みを進めています。

<業務提携に向けた基本合意書調印時の様子>



左から、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命取締役社長 大場、ニューロトラック社 CEO Elli Kaplan、SOMPOヘルスサポート取締役執行役員 平塚